

## 特集

# 教育改革を実現する キャンパス戦略

高校生のほとんどがオープンキャンパスに参加し、その多くがキャンパスの雰囲気を知りたくて参加している。また志望校検討時の重視項目においては「校風や雰囲気がよいこと」は「学びたい学部・学科・コースがあること」に次いで第2位という結果であり、その校風や雰囲気をどこから感じるかといえば「キャンパス」という回答が最多である\*。高校生達は、自分の未来を託すにふさわしい空間・環境なのかを、キャンパスに注目し見極めることから意思決定していることが分かる。即ち、独自の教育理念に基づき、いかなる「キャンパス戦略」を描くかは、大学にとって募集における競争優位のカギを握ると言っても過言ではないだろう。本特集では、グローバル化やイノベーション創出に向けた教育改革と一体となって進められるべき「これからのキャンパス」のあり方について、様々な視点からアプローチした。

※リクルート進学総研「高校生の進路選択に関する調査(進学センサス2019)」

---

P6-11 interview  
**知の拠点としてシンボリックで国際競争力のある  
大学キャンパス整備を**

仙田 満 環境建築家・環境デザイン研究所会長

P12-17 **大学経営に求められる施設戦略**  
——施設マネジメントが教育研究基盤を強化する

扇谷圭一 文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部 計画課整備計画室 管理企画係長

---

P18-27 **教教育改革を実現するキャンパス 事例**

KEYWORD 1 問題発見・解決の視点を涵養  
——慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC) ファブキャンパス

KEYWORD 2 産学連携・文理連携  
——近畿大学 アカデミックシアター

KEYWORD 3 異文化との融合  
——昭和女子大学 スーパーグローバルキャンパス

KEYWORD 4 自立性の涵養  
——神田外語大学 KUIS 8ほか

KEYWORD 5 DX 革命  
——東洋大学 情報連携学部 INIAD

---

P28-29 **編集長の視点**

---